



# 「求めよ」

理事長 山崎 ハコネ

求めよ、さらば與えられん。  
探せ、さらば見出されん。  
門を叩け、さらば開かれん。

マタイ七章七節

## Nさんのように

私たちの前にある道、その方向を左右するものがあるとすれば、それは「求めること」ではないでしょうか。祈りとも言えるものです。私たちは、利用者のご家族の「求め」を通して「与えられていく」ところの道を一緒に歩いてきました。

昨年、マナの家のKさん（八四歳 女性）が医師から死の宣告を受けたとき、ご家族が願われたことは「Nさんのように」でした。そしてこの夏、十年に及ぶ日々をからし種の家で暮らしたTさん（九四歳）の死を前にしたときも、ご家族が口に出したことは、「Nさんのように」という言葉でした。Nさんとは、からし種の家最初の利用者です。彼女は亡くなる五日前までからし種の家で暮らし、脳梗塞の発作を起こして済生会第二病院に入院。彼女の最期の家となったからし種の家で前夜式、葬儀（二〇〇一年一月十四日逝去・九四歳）を行いました。

- 2009年8月20日発行
- □本部 〒950-2014
- 新潟市西区小針西 1-4-22
- 社会福祉法人からし種の会
- TEL: 025-267-6600
- □高齢者グループホーム
- からし種の家
- TEL: 025-267-6600
- □地域福祉事業
- マナの 家
- TEL: 025-232-7112

をどうするのかという決断の際に不思議とモデルとなっていたことに今さらながら驚いています。

## 共に「育てる」

しかし、からし種の家であろうとマナの家であろうと、看取りは難しいと言えます。自宅としての機能をホームは持ち合わせているだけです。たとえ、地域医療との連携がとれるにせよ、病院のような二十四時間の医療管理体制があるわけでもないのです。急変の現場に居合わせる介護職員等の不安は計り知れないものがあります。

からし種の家は介護保険の指定事業所ですので、居宅サービスを使うことができません。Tさんのターミナルケアにおいては、その病状が訪問看護サービス（医療）の対象であったため利用することができました。そして、かかりつけ医の理解と連携協力の体制の中でご家族の①延命治療はしない、②からし種の家で看取りたい、③からし種の家で葬儀をしてほしいとの求めがひとつひとつ、緊張の中にも実現して行きました。医師が「点滴するよりすべがない」と診断せざるを得ない状況の中で、Tさんご自身がまだまだ残っている「生きる力」「生き抜く力」を見せてくださいました。お陰で私たちは、身体の向きを換えること、食事の工夫、清潔の保持、排泄ケア、なじみの人たちの声かけ、寄り添うことの大切さ等、最期までTさんにできることがあるいっぱいあることを強く教えても

らうことができました。

## 「門を叩け、さらば開かれん」

二〇〇九年七月二十八日、からし種の家で、Tさんの葬儀が行われました。Tさんに献花をして別れの時をもった利用者、家族も参列されていました。今度は「Tさんのように」とバトンが渡されていくのかもしれない。

私たちは利用者から暮らし方を教わりつつ、その死を通してでしか見つけることのできないメッセージを受け取って、「同じように」希望を次につなげていきたいと思っています。

その意味でも私たち法人は今、マナの家建設計画という重大な岐路にたたされています。

賀川豊彦という人は社会事業をする者に必要なのは「貧しき者に仕へんとする」「決心」だと言います。そして利益の一部、その剰余金を用いて、福祉をいままとも必要とする人を救済していく道を実践していったキリスト教の牧師です。私たちもまた、利用者をはじめ地域の人々の福祉・救いのために、法人に与えられているすべての資源を神が願うように用いていく決心を堅くして、神に求めつつ、自らの学習も深めながら、これからの道を模索していきたいと思えます。





# Tさんと歩んできた10年間

わたしは、よみがえりです。  
いのちです。  
わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。  
ヨハネ 11：25

二〇〇九年七月二十七日、からし種の家設立よりずっと暮らしていらっしやったTさんがお亡くなりになりました。七月二十八日、からし種の家で葬儀を行い、ご家族、ご親せきの方、また入所者の皆さんや、旧職員、ボランティアさんなどたくさんの方が集まり、大変あたたかな式となりました。

## \*Tさん 聞こえますか。\*

Tさんは、気付いていたでしょうか。Tさんは、人も羨むからし種の家のアイドルだったって言う事を……。

Tさんのまわりには、いつもお友達がいって、職員がいました。Tさんのこと、みんな大好きでした。

私達は、皆、歳を重ねたら、Tさんのように愛される人になりたいと思いました。これは、Tさんの人徳ですね。

私達は、Tさんからたくさん教え、想い出をいただきました。夜勤の時、「さあ、一緒に寝ませんか」と職員を気遣ってくださいました。「ひとつ食べませんか」と枕元のおやつを分けてくださいました。いつか、Tさんだけ食事の時間が遅くなった時、他の方もまだ食べていな

いと思われて、食事に手をつけようとされず、「お先にみなさんいただきますよ」とお伝えすると「ほう、そうか、食べたんか」と安心されたように食べ始められたことがありました。

Tさんは、いつも気遣いの方でした。

ご自分よりもお客様のことで、息子さんや娘さんのこと、目の前にいる人のことを気遣ってくださいる心やさしい方でした。

また、Tさんは、最期までご自分の意志をしっかり持たれた方でもありました。

食べたくない時は、口を真一文字に結び、召し上がろうとされませんでした。

意に添わないことには黙って、同意されませんでした。それでも以前に比べたら、ずいぶ

ん丸くなったと聞いたことがありました。けれど、そんな気丈な一面があつたからこそ、ご自分の人生を最期の最期まで気高く、力強く、みごとに生き切って旅立たれたのだと思います。

Tさんは、これまでいくつもの山を乗り越え、その度にご家族や私たちを、ハラハラさせてくれたけれど、いつも不死鳥の様にお元気になってくださいました。

そう、Tさんはその小柄な見かけによらず、たくましい方なのです。

そして、やはり、Tさんは最期にも、残されるご家族や私たちにやさしさをくださいました。

ご家族や職員が、後に憂いを残さないようにと、ありったけの力をふり絞ってできる限りの時間を、私たちにくださいました。

Tさん、本当にお疲れさまでした。

どうか、安らかに眠りください。あちらに行かれたら、先にいかれたお友達とまた「よっそらせえ」と紙風船飛ばしをして楽しんでください。

これからは、天国からいつもご家族みなさんのことを、そして時々はからし種の家のことを見守ってくださいね。

Tさん、わたし「さ・い・な・ら」は言いませんよ。

私達はTさんにめぐり会えて本当に幸せでした。

ほんとうに、心から、ありがとうございます。ございました。

二〇〇九年七月二十八日

山際 ルリ子





「お別れの会」に感謝

Tさん次男様

「からし種の家で最後を迎えた」という前々からの母の願いを叶えることができ、「良かった」とホッとしております。

施設長様のご理解と所員の方々のご協力、利用者の皆様の励ましのお陰と感謝しております。有難うございました。

母は、平成十二年二月に入所しましたので九年六か月、からし種の家で過ごさせていただきました。食事の手伝いや洗濯物の後片付けなど、自分のできることは自分でする生活は、とても気に入っていたようです。

私も時々、訪問させていただきましたがサロンの雰囲気の間におられる、おだやかな顔の利用者の方に私自身が励まされ、元気をいただいて帰ったことも何度もあります。

七月二十七日、九時七分「老衰」により死去いたしました。七月二十八日には心のこもった「お別れ会」を催していただきました。

お花の好きだった母にふさわしく、花いっぱい落ち着いた会でした。

施設長様、所員の皆様、利用者の皆様、そしてご参会の皆様ありがとうございました。



2009年7月 (同じ自室で) 「Tさん、ありがとう」



2000年3月 (入居当時) 「Tさん、よろしくね」

「大きくなったよ!」

今年、からし種の家で野菜作りを始めました。入居者のみなさんと四月に種植えをして、毎日成長を楽しみにしていました。ようやく今の時期、トマトにナス、きゅうりやじゃがいもなどがいっぱいに実をつけて、からし種の食卓をにぎやかにしてくれています。毎朝、Tさんは起きてこれらと庭をながめながら、「今日はトマトが食べ頃だな。」と、ご自分で収穫に行かれます。「これはまだ小さいから、あとちょっとだな。」「次は、何を植えようか?」などとみなさんなりに、あれやこれやと考え、毎日の収穫を楽しみにされています。



# 自治会50周年事業に参加して

五月四日の自由ヶ丘自治会創立50周年記念音楽祭が開催され、その席にからし種の家の皆様とマナの家の皆様がおじゃまさせて頂きました。

自治会50周年記念事業を  
終えて

自由ヶ丘自治会  
会長 中村健三郎



誠にありがとうございました。

自治会の50周年記念事業を計画するに当たり、何か皆で盛り上がる物はないかと、スタッフ、役員でいろいろ検討を重ねた結果、今回のマジックショー・ママさんコーラス・ソプラノ歌手の独唱という形になりました。

その中でも自治会員自らの手で料理を作るという企画は、前述した皆で盛り上がり参加人数を増やす点では非常に効果的な計画でしたが、やるまでには若干の不安がありました。当日の奥様パワーはたいしたものでした。見事立派に成し遂げられました。

参加人数は優に百人は超え、『からし種の家』の方からも多くの人が参加していただきました。会場が二階の為難儀をかけた山崎ハコネ氏には式典の乾杯の音頭を取っていただき、盛り上げていただきました。誠にありがとうございました。

うございました。また、自治会では毎年『のど自慢大会』を開催しており、『からし種の家』の方からも大勢参加していただいておりますが、今回その優勝者を中心に『フレッシュミニト』という名の男性コーラスを即席につくり、練習を重ね、当日、昔懐かしいピンキーとキラーズの『恋の季節』を唄い、大喝采をいただきました。

展示スペースを設け、自治会員の陶芸・刻字・洋画・綴織・色紙・染色等を展示し皆様の目を癒していただきました。

その中に『からし種の家』のコーナーを設け手作りの作品を出展していただきました。かわいらしい商品の即売品もあり、かなりの人が買っておられました。私も数点購入させて頂きました。

前述した様に、参加者も百人を超え成功のうちに終わることが出来ました。これはひとえに皆様のご協力の賜物を感謝申し上げます。

我が自治会と『からし種の家』さんと今後も助け合いの心でいろいろ協力してゆきたいと思っております。

これからも宜しくお願い致します。



今回の自治会50周年行事で、自治会の皆様の強い連帯感や、温情に心打たれることがしばしばありました。車椅子の利用者様を「いいよ、持ってあげるよ」と大勢の方が力を合わせて2階まで上げて下さり、「ゆっくりして楽しんで下さい」と優しい言葉を掛けてもらいました。利用者様たちも楽しい時間を一緒に過ごすことが出来、とても喜ばれておりました。

ゲームや音楽に耳を傾け、一緒に歌を口ずさんだりと、どの利用者様もいきいきと目を輝かせて大変喜んでおりました。またからし種のパザールのコーナー

自治会の皆様との交流を通して

職員・佐藤

## 避難訓練実施についてお願い

からし種の家では、西消防署のご協力のもと、下記の通り避難訓練を実施する事になりました。お忙しいとは思いますが、地域の皆様にもご参加頂ければありがたく存じます。

- 記
- 日時：2009年9月20日(日) 10時～10時30分
- 場所：高齢者グループホーム からし種の家

を設けさせて頂き、毎日一生懸命、編み物の好きな方や、縫い物の好きな方が楽しみなながら作られた作品を置かせて頂きました。自治会の方々にもたくさん買って頂き、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

私は三月よりからし種の家で働かせて頂いておりますが、今回、地域の皆様がこんなにもホームに目を向けて頂いていることに驚きました。とてもありがたい事です。地域の皆様とこれからもこの様な交流が出来ていけたら幸いです。

● 2008年11月～2009年6月“からし種の会”をご支援下さった方々です。(敬称略)

後援会の皆様のご支援のおかげで、たくさんの方の献金が集まりました。感謝いたします。

個人									
1	相浦 めぐみ (マナ 5,000)	10,000	29	菊池 順	10,000	57	古川 久子		3,000
2	青木 範雄 (マナ 10,000)	20,000	30	北垣 宗治	10,000	58	古谷 美恵子		10,000
3	青山 良子	10,000	31	久保 和子	3,000	59	星野 りえ子		10,000
4	新井 明	10,000	32	久保田 詠子 (マナ 3,000)	3,000	60	松崎 博司		15,000
5	安藤 紀子	6,000	33	倉本 武治	50,000	61	松本 幸恵		3,000
6	伊里 美恵子 (マナ 5,000)	10,000	34	幸田 良子 (マナ 30,000)	50,000	62	宮澤 恵子		5,000
7	市村 秀子	3,000	35	児島 康夫	5,000	63	守下 義之		15,000
8	一柳 茂樹・民恵	20,000	36	小林 恵	5,000	64	矢代 芳子		3,000
9	一色 登久子	5,000	37	近藤 勝彦	5,000	65	山岡 清二		5,000
10	伊藤 清治	6,000	38	才川 ミサ	10,000	66	山北 宣久		10,000
11	今井 さほ	3,000	39	齊藤 三恵	3,000	67	山田 耕太		5,000
12	色川 暁郎	1,000	40	神保 みゆき (マナ 5,000)	12,000	68	横田 秀雄		5,000
13	内海 初子 (マナ 5,000)	10,000	41	鈴木 恵子	7,000	69	横山 豊治		5,000
14	鶴沼 裕子	10,000	42	高橋 和彦	3,000	70	匿名 (マナ 1,875)		1,875
15	多岩 治子	5,000	43	竹内 晃 (マナ 5,000)	10,000	71	匿名 (マナ 5,000)		20,000
16	大澤 理尋	3,000	44	丹後 源太郎	5,000	72	匿名		10,000
17	岡野 政子	5,000	45	東條 節子	3,000	73	匿名		3,000
18	小川 和男	5,000	46	土橋 敏孝 (マナ 5,000)	15,000	74	匿名		10,000
19	小河 美子	5,000	47	中俣 正美・三和子 (マナ 5,000)	21,000	75	匿名		50,000
20	小原 健・富美子	10,000	48	西山 悦子 (マナ 5,000)	10,000	76	匿名 (マナ 5,000)		5,000
21	小槻 節・鑑子	5,000	49	野島 廣一郎	6,000	77	匿名 (マナ 20,000)		26,000
22	小淵 康而	10,000	50	信田 智	5,000	78	匿名 (マナ 5,000)		20,000
23	小柳 直江	5,000	51	橋本 末子	3,000	79	匿名		10,000
24	加藤 栄嗣	5,000	52	長谷川 静子	3,000	80	匿名 (マナ 1,000)		1,000
25	加藤 楽子	3,000	53	林 浄子	5,000	81	匿名		10,000
26	角倉 泰彦	15,000	54	藤崎 光雄	34,500	82	匿名		5,000
27	川上 博子 (マナ 5,000)	10,000	55	藤野 ハルミ	3,000				
28	河村 富雄	5,000	56	藤森 恵美子	5,000				
					個人合計		785,375		
教会・団体									
青山学院初等部部長 飛田浩昭		30,000	日本基督教団 新津教会		2,000	日本基督教団 東中通教会		3,000	
敬和学園大学 キリスト教と教育委員会		4,000	日本基督教団 和戸教会		5,000	日本基督教団 聖ヶ丘教会 婦人会		40,000	
新丸子教会 (マナ 5,000)		5,000	日本基督教団 熊谷教会		3,000	日本基督教団 東中通教会 婦人会		5,000	
新丸子教会 婦人会		3,000	日本基督教団 越谷教会		3,000	常陸牧師会		10,000	
新潟信濃町教会		30,000	日本基督教団 田沢伝道所		3,000	宮城学院キリスト教センター		26,440	
新潟友の会		10,000	日本基督教団 十日町教会 大役員 新井 純		3,000	(株)ネイグル新潟		10,000	
日本キリスト教団 シャロンのばら伝道所		5,000	日本基督教団 新潟教会		10,000				
日本キリスト教団 聖ヶ丘教会		120,000	日本基督教団 東大宮教会		5,000	法人合計		335,440	
法人口座へ献金									
並木 浩一 (マナ 5,000)		10,000	法人口座献金合計		10,000				
合計金額					1,130,815				

＊ 献金をしていただく口座 ＊

① 後援会の口座

郵便振替口座 払込取扱票で入金の場合 (同封のもの)  
 口座記号: 00540 - 7  
 口座番号: 059997  
 加入者名: 社会福祉法人からし種の会 後援会

■ 振込方法

・今まで通り払込取扱票を郵便局 (窓口/ATM) で送金していただく。  
 ・2009年1月5日からは、銀行 (窓口/ATM) から振込することが可能となりましたので、その場合は、下記のとおりとして下さい。

銀行名: ゆうちょ銀行 金融機関コード: 9900  
 店番号: 59 店名 (カナ): 〇五九店 (ゼロコキョウ店)  
 預金種目: 当座 口座番号: 59997  
 受取人名 (カナ氏名): シャカイフクシホウジン カラシダネノカイウエンカイ

② 法人の口座

第四銀行小針支店 普通預金  
 口座番号: 1300222  
 名 義: 社会福祉法人 からし種の会

※ 所得税控除

当法人が行う社会福祉事業のために②口座に献金して戴くと、所得税法第78条第2項第3号及び法人税法第37条第4項に該当し、税金が控除されます。  
 こちらから発行する領収書が異なりますので、法人に指定寄付をご希望される方は、寄付申込書が必要になりますのでご連絡下さい。



# 敬和学園大学生による 企画・立案 地域お茶の問いきいきサロン



二〇〇九年六月二十七日(土)に、さかいわコミニティーセンターで自治会主催の「地域お茶の問いきいきサロン」が開かれ、からし種の家・マナの家の入居者の皆さまも参加させていただきました。この日は敬和学園大学の学生が来て下さいました。

これからも毎月、開催されるのでこれからも地域の一人として、参加させていただきたいなと思っております。

**ボランティア参加して**

● 敬和学園大学共生社会学科四年 眞田 二千翔  
● 山崎ゼミの仲間たちと小針自由が丘自治会のお茶の間に参加させていただきました。初めてプログラムの企画立案、そして実践の体験をしました。内容は、ゲーム、お菓子作り。私の担当は後者で、マナの家・からし種の家の方、小針地区のみなさんと、とうふ白玉とゴーヤジュースと一緒に作りました。初めて作る方が多くみなさん最初は興味津々な様子でしたが、完成した後は、おいしくいただくことができよかったです。地域の方々が参加し暖かい雰囲気を迎えてくださり嬉しかったです。ありがとうございます。また、機会がありましたらぜひ参加させていただきたいと思っております。

## ボランティアさん大募集!!

からし種の家、マナの家では随時、ボランティアをして下さる方を募集しています。ボランティアの方をお願いしたい事は・・・

- 利用者の方の散歩のお付き合いやお話相手
- 利用者の方と食事作り
- 庭の手入れ等の環境整備

1時間だけでも構いません。お時間が許す時に来て頂ければ幸いです。

☆からし種の家 TEL 025 - 267 - 6600  
☆マナの家 TEL 025 - 232 - 7112



## Eさんのご自宅を訪ねて

心待ちにしていたこの日は、あいにくの雨模様でしたが、スタッフの手作り弁当を携えてEさんのご自宅へと向かいました。

やがて見慣れた風景と空気がEさんを満たしていきました。自然に会話も弾み緩やかな時を共有する事ができました。ご家族の深い絆と思いやりを感じながら、Eさんが思い続ける故郷を彩る思い出がまた一つ増えた事を確信しました。そんな「感謝」の一日でした。

マナの家 本田

## 編集後記

種 17号がようやくからし  
りましました。今回、  
地域の方々との交  
流や、10年を迎え  
てのからし種の様  
子などがお伝えで  
きたかなと思っ  
ておられます。これ  
からもよろしくお  
願いいたします。  
S.